

# 身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

## 総括表

氏名	年 月 日生	男 女
住 所		
①障害名（部位を明記）		
②原因となった 疾病・外傷名	交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災 自然災害・疾病・先天性・その他（ ）	
③疾病・外傷発生年月日	年 月 日	場 所
④参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
⑤総合所見		
〔将来再認定：要（重度化・軽度化）（ 年 月）・不要〕		
⑥その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断します。併せて以下の意見を付します。 年 月 日		
病院又は診療所の名称 所 在 地	電話	（ ）
診療担当科名	科	医師氏名
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ 級相当） ・該当しない		
注意 1 障害名には現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 障害区分や等級決定のため、福島市社会福祉審議会から改めて別紙所見の部分について、お問い合わせする場合があります。		

呼吸器機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1. 身体計測

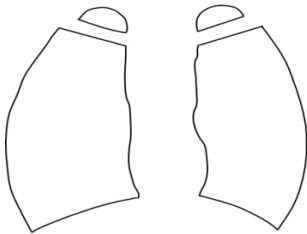
身長                      cm                      体重                      kg

2. 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。  
 イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。 (4級相当)  
 ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。 (4級相当)  
 エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。 (3級相当)  
 オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。 (1級相当)

3. 胸部エックス線写真所見 (              年              月              日)

- ア 胸膜癒着                      (無・軽度・中等度・高度)  
 イ 気腫化                      (無・軽度・中等度・高度)  
 ウ 線維化                      (無・軽度・中等度・高度)  
 エ 不透明肺                      (無・軽度・中等度・高度)  
 オ 胸郭変形                      (無・軽度・中等度・高度)  
 カ 心・縦隔の変形                      (無・軽度・中等度・高度)



4. 換気機能 (              年              月              日)

- ア 予測肺活量                      \_\_・\_\_ L (実測肺活量 \_\_・\_\_ L)  
 イ 1秒量                      \_\_・\_\_ L (実測努力肺活量 \_\_・\_\_ L)

- ウ 予測肺活量1秒率                      \_\_・\_\_% ( $= \frac{イ}{ア} \times 100$ )  
 (アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性  $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性  $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5. 動脈血ガス (              年              月              日) ※安静時、通常室内空気吸入時

- ア O<sub>2</sub>分圧 : \_\_・\_\_ Torr  
 イ CO<sub>2</sub>分圧 : \_\_・\_\_ Torr  
 ウ pH : \_\_・\_\_  
 エ 採血より分析までに時間を要した場合 \_\_時間\_\_分  
 オ 耳朶血を用いた場合 : [                      ]

6. その他の臨床所見